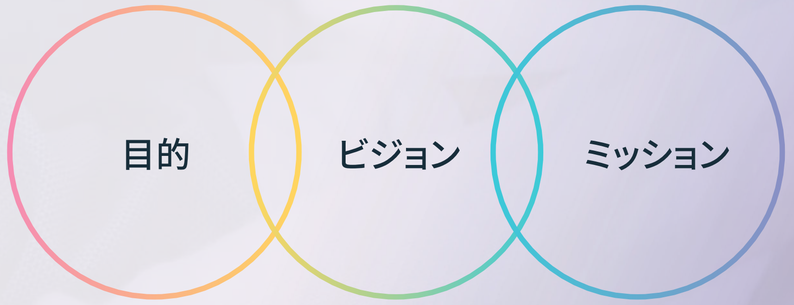
iRHYTHM®

行動規範

正しいことをする。それが私たちの信条です。



目次

はじめに ... 3
CEOからのメッセージ ... 3
目的・ビジョン・ミッション ... 4
私たちの価値観が私たちの行動を導く ... 5
行動規範がある理由 ... 7
規範は全員に適用される ... 8
私たちに求められる行動 ... 8
研修・教育 ... 9
常識 ... 9
マネージャーの重要な役割 ... 9
オープンなコミュニケーションと懸念の提起 ... 10
報復禁止 ... 10
インテグリティホットライン ... 11
顧客に対する取り組み ... 12
品質における卓越性 ... 13
データプライバシーとセキュリティ ... 13
資産の保護 ... 14
サイバーセキュリティ対策 ... 14
人工知能（AI） ... 15
真実に基づく広告とマーケティング ... 15
安全で高品質な製品・サービス ... 15
研究開発 ... 15
第三者の管理 ... 16
適切な場合の免除 ... 16
働きやすい職場づくりへの取り組み ... 17
共にイノベーションを起こそう ... 18
差別およびハラスメントの禁止 ... 19
雇用機会均等 ... 19
職場の環境・衛生・安全 ... 20
暴力の防止 ... 20
社会に対する取り組み ... 21
人権 ... 22
環境保護 ... 22
ボランティア活動と地域社会への貢献 ... 22
薬物乱用の禁止 ... 22
慈善活動および政治活動 ... 22
メディア・広報 ... 23
ソーシャルメディア ... 23
政府関係者とのやり取り ... 23
倫理と誠実さへの取り組み ... 24
利益相反 ... 25
贈収賄・汚職の防止 ... 25
医療従事者（HCP）との連携 ... 25
ビジネス上の贈答・接待 ... 26
法務・規制関連の問い合わせへの対応 ... 26
インサイダー取引 ... 26
正確な帳簿と記録の維持 ... 27
公正な競争 ... 27
貿易コンプライアンス ... 27
請求・償還 ... 27
懸念事項・問題の提起に関する取り組み ... 28



CEOからのメッセージ

同僚の皆さんへ

iRhythmへようこそ。iRhythmは、病気の検出、予測、予防に役立つ信頼性の高いソリューションを提供する、大手デジタルヘルスケア企業です。当社のビジョンは、すべての人々に、より質の高いデータ、より深い洞察、そしてより良い健康を提供することです。このビジョンを実現できるかどうかは、明確な存在意義と共通のマインドセットにかかっています。当社の価値体系には、私たちの存在意義、コンピテンシー、そして戦略が含まれています。iRhythmは、行動規範に明記されている誠実さ、説明責任、包摂性、リーダーシップ、透明性といった原則に対し、揺るぎない信念をもって取り組んでいます。

本行動規範は、当社の価値観に基づいて策定され、日々の判断や行動の指針となるものです。私たちは全員、誠実に行動し、正直に事業を行うとともに、互いに正しいことをする責任を持つことが求められます。本行動規範は、私たちが日々行う判断について継続的に話し合えるよう促し、正しい意思決定を行えるようにします。本行動規範にすべての答えが記載されているわけではありません。しかし、これまで知らなかった、または十分に理解していなかった可能性のあるルールや規制について、認識を深めることができます。また、サポートが必要な場合に、どこで助けを求めればよいのかを示し、私たち全員を正しい方向へ導いてくれます。

行動規範を詳しく読んで、意味が理解できない部分や、どのように行動すべきかがわからないことがあれば、質問してください。会社または一緒に仕事をしている人が、本規範、ポリシー、または法律に違反している可能性があると誠実に信じる場合は、問題や懸念を提起してください。さらに、マネージャーには今後も、率直に意見や懸念を伝えることが歓迎され、懸念が真摯に受け止められる環境を維持していくことを期待しています。質問をしたり、懸念を提起したりすることこそが、iRhythmにおいて真に誠実な文化を築き、維持していくための唯一の方法なのです。

共に、自分に対しても互いにも責任を持って行動しましょう。

よろしくお願いします。



最高経営責任者、
Quentin Blackford

目的・ビジョン・ミッション

当社の存在意義

（当社が存在する理由）
心臓不整脈の診断における新たな基準を確立する。

当社のビジョン

（当社が目指す未来）
より質の高いデータ、より深い洞察、そしてより良い健康をすべての人に提供すること。

当社のミッション

（当社のビジョンを実現するために行うこと）大胆なイノベーションを起こし、病気の検出、予測、予防に役立つ、信頼できるソリューションを創造すること。



私たちの価値観が
私たちの行動を導く



当社の価値観

iRhythm（以下「iRhythm」または「当社」）では、当社の価値観が、ミッションをどのように実現するか、そしてお互いに、また私たちが支援する人々にどのように接するかの指針となっています。当社のミッションは、大胆なイノベーションを通じて、病気の検出、予測、予防に役立つ信頼性の高いソリューションを創造することです。当社は、ミッションを実現するための指針として、5つの基本的な価値観を掲げています。



誠実さをもって率先して行動する

正しいことをする。それが私たちの信条です。

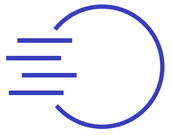
- 信頼を築く
- 自らに最高の倫理基準を課す
- 透明性をもって行動する
- 責任を持つ



患者のために問題を解決する

患者さんの生活をより良くすることが、私たちの情熱です。

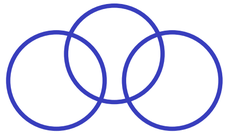
- 患者ファースト
- 質の高い結果を提供する
- 顧客のニーズを考慮する



大きな目標を描き、迅速に行動する

当社のビジョンを実現するには、品質を損なうことなく大胆に行動することが必要です。

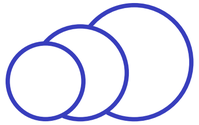
- 新しいアイデアを受け入れる
- 賢明にリスクを取る
- 緊急性を意識して行動する
- 失敗から学ぶ



協働して成果をつかむ

全員の成功を優先することで、目覚ましい成果を実現します。

- 全体的かつ戦略的に考える
- 積極的に関係を構築する
- 一丸となって働く

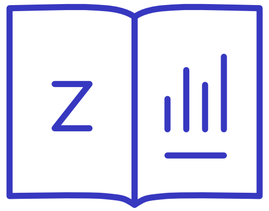


より良いものを目指して努力する

iRhythmには計り知れない可能性が秘められています。

- 変化を受け入れる
- 成長の機会を追求する
- 多様な視点を求める

インテグリティホットライン 電話：1.844.884.0117（米国）、0800 196 9504（英国）、02 8231 3103（フィリピン）、0800 777 1108（日本）



行動規範がある理由

iRhythmでは、会社の成功に、誠実かつ倫理的な行動が極めて重要です。**行動規範（以下「本規範」）**は、疑う余地のない誠実さをもって業務を遂行するために必要な指針やリソースを提供する目的で策定されました。本規範は、不正行為を抑止し、以下のことを促進するために策定されました。

- 誠実かつ倫理的な行動
- 適用される法律、規則、規制を遵守すること
- 本規範への違反を速やかに内部報告すること
- 本規範の遵守に対して責任を持つこと
- 報告書および対外的なコミュニケーションにおいて、完全、公正、正確、適時かつ理解しやすい情報開示を行うこと

行動規範を遵守するという私たちの姿勢により、当社の世界各地の事業が、業界の財務・法務・倫理基準に従うことを確かなものにできます。私たち全員が本規範を読み、理解し、遵守することが重要です。私たちは皆、本規範、そして当社が事業を展開する各国の法令および規制に準拠した行動をとる責任を負っています。当社では、あらゆる階層のすべての関係者に、本規範を遵守し、最高水準の倫理的・法的基準を維持することを求めています。

これには、その勤務地に関わらず、当社の従業員、マネージャー、取締役、役員、および代理店、販売代理店、副販売店、販売業者、請負業者、コンサルタント、臨時スタッフ、ベンダー、その他の第三者の代表者（以下、「第三者」）など、iRhythmに代わって事業を展開するすべての人が含まれます（総称して「業務従事者」または「私たち」）。

倫理的かつ合法的な行動への私たちの取り組みは、本規範の中核を成すものであり、私たちは常に最高水準の倫理基準を維持するよう努めています。重要なのは、本規範が、倫理的かつ法令を遵守して行動するという取り組みにとどまらないという点です。これは、私たちが互いに、顧客と、そして一般の人々とどのように交流するかを規定するものでもあります。以下の**原則**が、**私たちの行動**の指針となります：

誠実さ（インテグリティ）

信頼できる人物となり、
倫理的に行動します

説明責任

責任ある選択をし、
責任を負う勇気を持ちます

包摂性

意思決定において、
あらゆる声に耳を傾け、
尊重する。

リーダーシップ

他者を鼓舞し、敬意を
もって模範を示します

透明性

率直に、誠実に、
建設的に行動します

本規範は、当社業務従事者である私たち一人ひとりに適用される一般的な方針と手順も定めています。本規範は、会社の他のポリシーや手順に取って代わるものではなく、それらと矛盾するものでもありません。本規範が他のポリシーまたは手順と矛盾する場合は、本規範が優先されます。本規範と適用される法律や規制の条項との間に相違がある場合、本規範に合致する最も厳格な要件に従うことが求められます。

インテグリティホットライン　電話：1.844.884.0117（米国）、0800 196 9504（英国）、02 8231 3103（フィリピン）、0800 777 1108（日本）

規範は全員に適用される

本規範は、iRhythmのすべての子会社および関連会社に適用され、法的、専門的、倫理的な義務を果たすために、私たちが互いに、また顧客、サプライヤー、競合他社、政府機関、一般社会と関わる際の基本的な枠組みを定めています。これは、勤務地に関係なく、すべての当社業務従事者に適用されます。私たちには、本規範やその他のポリシーを読み、理解し、それに沿った行動をとる義務があります。



私たちに求められる行動

私たちは本規範およびすべての社内規定を遵守しなければなりません。そうしない場合、懲戒処分を受ける可能性があり、場合によっては雇用を終了されることもあります。違反行為を認識していながら、速やかに報告し、是正しなかった上司、マネージャー、役員、または取締役は、同様の処分を受ける可能性があります。状況的に適切な場合、当社は法的措置を講じること、または刑事訴追の可能性を含め、事案を公的な法執行機関に付託することを検討します。iRhythmは、本規範を遵守するという当社の取り組みを示すため、当社の全業務従事者に対し、入社時に本規範を遵守することを確認・証明するよう求めています。その後も毎年、本規範を遵守していることの確認・証明が求められます。

Q: 国によって法律、規制、慣習は異なります。本規範は世界中のすべての人に適用されますか？

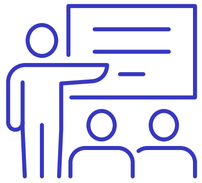
A: はい。本規範に定められた行動は、iRhythmの全業務従事者、および世界中でiRhythmに代わって事業を展開するすべての人に適用されます。現地の慣習、文化、または法律が、本規範に定められた行動基準のいずれかに抵触する場合は、コンプライアンス・倫理チームのメンバーに助言を求めてください。一般的に、本規範が現地の法律や慣習よりも厳格な場合は、本規範に示されている指針に従うべきです。



当社業務従事者に求められること：

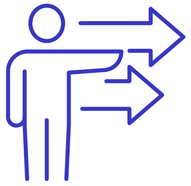
- 本規範およびポリシーに記載されている要件を読み、理解し、遵守してください。
- 会社の倫理と誠実さ（インテグリティ）に対する当社の取り組みを受け入れてください。
- 業務上の状況への対処方法がわからない場合は、質問したり、指導を求めたりしてください。
- 本規範への違反を発見した場合は、直ちに報告してください（詳細については、「リソース」セクションを参照してください）。
- 本規範の遵守徹底に向けて、自ら責任を果たしてください。
- いかなる調査にも誠実に協力してください。
- 報復行為を防止する文化を育み、従業員が疑問を呈したり、本規範、会社のポリシー、または法律に違反していると感じて報告したりしたことを理由に、決して報復行為を行ってはなりません。
- ご質問がある場合は、マネージャー、人事部、コンプライアンス・倫理チームのメンバー、またはインテグリティホットラインまでご連絡ください。

インテグリティホットライン 電話：1.844.884.0117（米国）、0800 196 9504（英国）、02 8231 3103（フィリピン）、0800 777 1108（日本）



研修・教育

当社は、継続的な教育とトレーニングが、会社の成功と、会社を規制する複雑な一連の法律、規則、規制、ガイドラインの遵守に貢献すると考えています。したがって、当社の全業務従事者は、本規範、会社のポリシー、および会社が事業を展開する国々において適用される法的要件を遵守するために、継続的なトレーニングを修了しなければなりません。本規範の遵守について確認・証明を行わなかった場合、または必要・必須のトレーニングを期限内に修了しなかった場合、懲戒処分を受ける可能性があります。



常識

本規範は、日々の業務遂行の指針となるものですが、職場で起こりうるあらゆる困難な状況に対処できるものではありません。特定の行為が適切かどうか疑問に思った場合は、マネージャー、人事部、またはコンプライアンス・倫理チームのメンバーに相談してください。



マネージャーの重要な役割

すべてのiRhythm業務従事者には、社内での役職にかかわらず、同じコンプライアンスおよび倫理基準が適用されます。経営幹部やリーダーは、社内チームの文化に大きな影響を与え、「正しいことをする」よう他者を促すことができるため、行動規範の遵守においてさらに一歩踏み込んだ行動が求められます。マネージャー、スーパーバイザー、リーダーは、行動規範に定められた基準と原則へのコミットメントを明確に示し、誠実さが当然のこととされ、倫理的な行動が当たり前となり、報復を恐れることなく疑問や懸念を気軽に話し合える環境づくりに貢献しなければなりません。マネージャーは、本規範を理解し、その指針を効果的に伝え、不明点があれば質問に答えることが求められます。報告された懸念や本規範への違反はすべて、直ちにエスカレーションしてください。

マネージャーには、報告されたすべての懸念を真摯に受け止め、従業員が質問や問題を気軽に話し合える環境を整える義務があります。マネージャーは、報告された懸念や本規範への違反（違法行為などではない場合も含む）をすべて厳重な機密保持の下で処理し、直ちにコンプライアンス・倫理チームのメンバーに報告しなければなりません。



マネージャーの責任は以下の通りです。

- チーム内で当社の規範について話し合い、当社の倫理基準が事業の行い方にどのように影響するかを明確にすること。
- 人々が懸念を率直に申し出ることができるよう促すこと。
- 従業員のパフォーマンス評価を行う際には、倫理的かつ法令遵守に基づいた行動を考慮に入れること。
- 社内における日常的な会話の中で、コンプライアンスに関する議論を促進すること。
- 法律または本規範への違反の疑いがある場合は、速やかに対応すること。
- 報告された懸念や本規範への違反はすべて、直ちにコンプライアンスチームのメンバーに報告すること。

オープンなコミュニケーションと懸念の提起

私たちは、説明責任と明確性のある環境を維持するという共通の責任を負っています。オープンなコミュニケーションを維持することが不可欠です。これには、質問をしたり、アイデアを提案したり、懸念を表明したりすることを奨励する「オープンドア」ポリシーを維持することも含まれます。組織のあらゆる階層のマネージャーには「オープンドア」の環境を維持することが求められ、すべての当社業務従事者は上司に懸念事項を提起するよう奨励されています。iRhythmは、法律または行動規範への違反を目撃した、または疑った場合に、皆さんが声を上げることを信頼し、期待しています。

iRhythmは、あらゆる不正行為の申し立てを真摯に受け止め、十分な情報が提供された場合は、本規範、会社のポリシー、または法律への違反の可能性に関する報告について調査を行います。当社の全業務従事者には、要請があった場合、会社のあらゆる調査に協力する義務があります。調査への参加を求められた場合は、調査の過程において、完全かつ正確な情報を提供しなければなりません。また、調査および関連する話し合いの内容はすべて機密保持する義務があります。

当社のグローバル・リスク・インテグリティ（GRI）部門は、本規範の管理を担当し、最高リスク責任者および最高コンプライアンス責任者に報告を行います。調査完了後、コンプライアンスチームのメンバーは、経営陣の他のメンバーと共に調査結果を分析し、適切な対応策を決定します。対応策としては、是正措置（トレーニング、管理体制の強化、指導、コミュニケーションなど）または懲戒処分などが挙げられます。解雇の可能性を伴う懲戒処分については、最高コンプライアンス責任者および人事・文化部門責任者が審査を行います。

報復禁止

誠意をもって助言を求めたり、懸念を表明したり、本規範（または会社のポリシー、法律、規則、規制）への潜在的な違反を報告したりする者は、報復から保護されます。誠意をもって懸念を報告した者に対し、その情報が最終的に正しいと証明されるか否かにかかわらず、懲戒処分、差別、不利な雇用措置、または報復を行うことは、本規範への違反となります。報復から保護するという当社の取り組みは、当社による調査または照会に協力するすべての人に及びます。

質問、指導の要請、懸念の表明、不正行為の報告、または調査への参加を行ったことに対して、あなた自身または他の個人が報復を受けたと考える場合は、直ちにコンプライアンス・倫理チームまたは人事部の担当者に通知しなければなりません。また、現地の法律で認められている場合、当社のインテグリティホットラインを利用して、報復行為を匿名で報告することもできます。

報復とは？

不利益な措置とは、口頭または書面による脅迫、虐待、嫌がらせ、日常的に参加していた業務会議への参加拒否、否定的なパフォーマンス評価、降格、停職、報酬の減額、福利厚生や昇進の拒否、解雇など、様々な形態を取り得ます。

インテグリティホットライン

iRhythm業務従事者、医療従事者、サプライヤー、患者、さらには一般の方を含め、誰でもiRhythmのインテグリティホットラインを利用でき、現地法で認められている場合は、懸念事項を匿名で報告できます。しかし、あなたの身元を開示することで、iRhythmはより迅速かつ徹底的な調査を実施することができます。インテグリティホットラインは24時間365日利用でき、独立した第三者が運営しています。そのため、ご自身で身元を明かす場合、または報告内容から身元が判明する場合を除き、匿名性は維持されます。

本規範、会社のポリシー、またはその他の適用される規則や規制に違反する事柄を発見した場合に、既知または疑わしい懸念事項を報告するのはあなたの責任であることを忘れないでください。さらに、悪意をもって提出された報告書も本規範への違反であり、懲戒処分の対象となります。

Q: コンプライアンス・倫理チームのメンバーに懸念事項を報告した場合、回答してもらえますか？

A: はい。コンプライアンス・倫理チームは、あらゆる質問や懸念に対し、迅速かつ包括的に対応することを目指しています。当社は機密保持を尊重しているため、案件の結果に関する詳細情報は、必要最小限の範囲でのみ共有いたします。

覚えておいてください: インテグリティホットラインを利用するか、COMPLIANCE@IRHYTHMTECH.COMへメールすることで、秘密を守って質問することもできます。



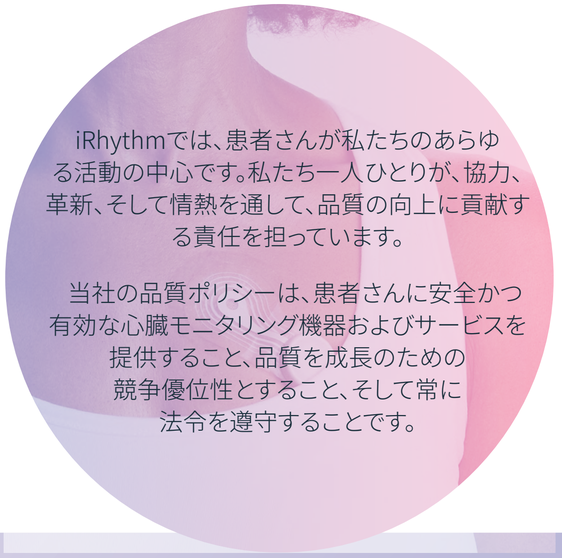
顧客に対する取り組み



品質における卓越性

当社は、顧客の品質管理および製造に関する要件を満たし、さらにそれを上回り、また、医療業界を規制する様々な規則や規制を遵守することで、当社の貴重な評判を維持しています。したがって、当社が製造する製品および提供するサービスは、顧客のニーズを満たすだけでなく、優れた価値と信頼性を備えていなければなりません。当社は、**品質マネジメントシステム（QMS）**に定めるすべての品質プロセスおよび安全要件に従い、製品・サービスの開発に適用されるすべての基準・規制（適正製造規範（GMP）、適正文書化規範（GDP）、設計管理、表示、マーケティング管理、製造工程管理を含む）を遵守しなければなりません。

当社製品の品質を確保するため、(i) 製品クレームや有害事象の可能性を認識し、(ii) それらを報告する際に入手可能なすべての情報を収集し、(iii) 発見後できるだけ速やかに品質チームへ報告しなければなりません：support@irhythmtech.com



iRhythmでは、患者さんが私たちのあらゆる活動の中心です。私たち一人ひとりが、協力、革新、そして情熱を通して、品質の向上に貢献する責任を担っています。

当社の品質ポリシーは、患者さんに安全かつ有効な心臓モニタリング機器およびサービスを提供すること、品質を成長のための競争優位性とすること、そして常に法令を遵守することです。

データプライバシーとセキュリティ

iRhythmのようなヘルスケア企業にとって、データプライバシーを尊重することは非常に重要です。データプライバシーは、患者さんの個人情報および医療情報を保護します。このデータを慎重に取り扱うことで、患者さんと医療提供者の間の信頼関係の構築に役立ちます。機密情報が漏洩したり悪用されたりすると、個人情報の盗難や、患者さんが自身の健康問題を共有することに抵抗を感じるようになるなど、深刻な問題につながる可能性があります。プライバシーに関する規則を遵守し、トレーニングを実施することで、医療情報の安全性を確保しており、これは、質の高い医療を提供し、iRhythmの評判を維持するために不可欠です。これは、個人情報にアクセスできる当社業務従事者にも当てはまります。すべての個人は、個人情報が尊重され、法的要件に従って取り扱われるという確信を持つ権利を有します。

患者情報が誤った人物と共有されたり、不正にデータにアクセスした人物によって悪用されたりなど、患者データが適切に共有されなかった場合、当社は規制当局および個人に対して法的義務を負います。こうした事象は「インシデント」と呼ばれ、「侵害」があったかどうかを判断するために調査する必要があります。「侵害」が発生した場合は、会社を規制する各種法律に従って適切に対処しなければなりません。個人情報が悪用された、または不適切な相手の手に渡った可能性に気付いた場合は、直ちにプライバシーコンプライアンス部門またはセキュリティチームへ連絡してください。

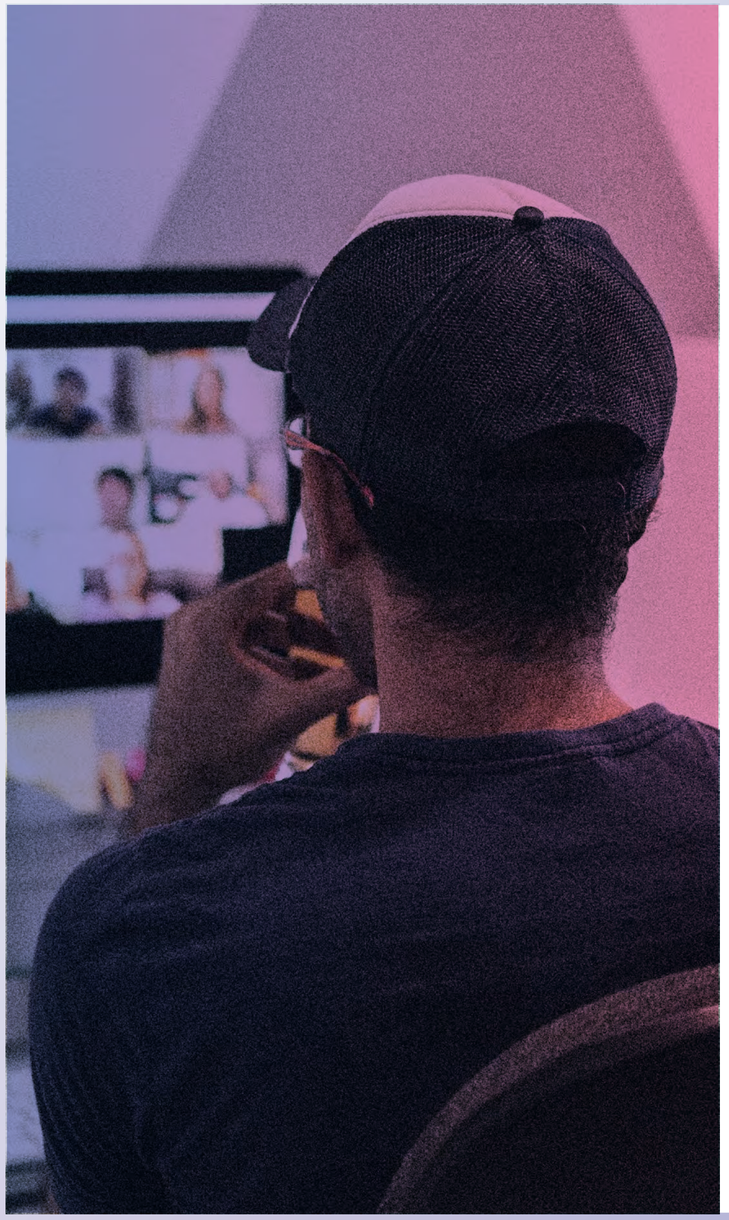
iRhythmのデータプライバシーとセキュリティ、および会社方針について詳しくは、Global Privacy at iRhythmを参照してください。

個人情報とは、個人を特定するのに役立つ情報を含むあらゆる情報のことです。iRhythmでは、個人情報は、シリアル番号やサービス提供日といった単純な情報である場合もあります。ご不明な点がある場合は、プライバシーコンプライアンスチームのメンバーにご確認ください。

インシデントの報告先：

privacy@irhythmtech.com

覚えておいてください：私たち全員には、受領、要求、共有する患者情報について、社内で扱う場合でも、保険会社、医療従事者、さらには患者本人とやり取りする場合でも、特に慎重に取り扱う義務があります。



資産の保護

当社と顧客の資産および資材を、紛失、損傷、不注意、浪費、誤用、盗難から守る責任は、私たち全員にあります。会社の資産は正当な目的のみに使用し、浪費、損失、損害が発生した場合は速やかに報告してください。資産には、機械、車両、家具、資金、コンピュータ、電話、電子システム、その他の物理的な物品などの有形資産に加え、専有情報などの無形資産も含まれます。専有情報には、開示された場合に競合他社にとって有用となる可能性のある非公開情報、またはiRhythm、そのビジネスパートナー、もしくは顧客に損害を与える可能性のあるすべての非公開情報が含まれます。これには、財務データ、顧客データ、事業戦略、研究開発活動、および知的財産が含まれます。専有情報は、許可された目的のためにのみアクセスおよび使用されるべきであり、適切な許可とビジネス上の目的を持たない者と共有してはならず、会社所有ではない（個人の）デバイスからは速やかに削除されなければなりません。同様に、当社は他社の知的財産権を侵害してはならず、また顧客やその他の第三者の知的財産が不正に使用または不正流用されることを許容してはなりません。特定の情報が専有情報であるかどうかが不明な場合は、別途指示があるまで専有情報として扱ってください。

サイバーセキュリティ対策

私たちは、会社の情報およびテクノロジーシステムとネットワークの安全性と完全性（インテグリティ）を確保するために、必要なあらゆる措置を講じなければなりません。私たちには、コンピューター、ネットワーク、機器、クラウド、データ、通信、人工知能（AI）の各リソース（総称して「会社リソース」）を、安全、倫理的、適法、効率的かつ生産的に使用する責任があります。会社リソースを無許可、不適切または違法に使用した場合、懲戒処分や法的措置の対象となる可能性があります。法律で認められている場合、当社は会社リソースの利用状況を監視し、アクセスすることがあります。また、米国の当社業務従事者は、コンピューターやモバイル端末を含む会社リソースの利用について、プライバシーが保護されることを期待すべきではありません。

サイバーセキュリティのベストプラクティスを守ることは、私たち全員の責任です。サイバーセキュリティのベストプラクティスには、以下の原則が含まれます：

- すべての会社情報を機密情報として扱う
- パスワード、ログイン情報、MFAコードを共有しない
- 自分に許可されたアクセス認証情報のみを使用する
- 会社リソースは正当な業務目的にのみ使用する
- 会社方針で許可されている場合を除き、会社データを個人用デバイスで扱わない
- 機密性の高いデータには、暗号化および承認済みの安全なファイル共有方法を使用する
- 会社が承認したソフトウェア、クラウドソリューション、AIツールのみを使用する
- フィッシングやソーシャルエンジニアリングの試みに常に注意する
- 予期しないリンクをクリックしたり、不明な添付ファイルを開いたりしない
- 機密データや支払いに関する依頼は、信頼できる連絡経路で確認する

インテグリティホットライン 電話：1.844.884.0117（米国）、0800 196 9504（英国）、02 8231 3103（フィリピン）、0800 777 1108（日本）

- フィッシングやソーシャルエンジニアリングが疑われる場合は、直ちにセキュリティチームへ報告する

適用されるすべての法律、規制、および会社の情報セキュリティ方針を遵守してください。

サイバーセキュリティインシデントが疑われる場合は、実際に侵害が発生したか確信が持てなくても、直ちに報告してください。例：

- ノートパソコンの紛失
- バッジの盗難
- マルウェア
- 不審なメール／フィッシング
- 誤送信・誤開示
- 不正アクセス
- ランサムウェア
- 認証情報の侵害
- 予期しない電話／テキストメッセージ

人工知能（AI）

従業員は、iRhythmの方針およびガイドラインに従い、適切な業務目的のために、iRhythmの社内向けツール（M365 Copilotなど）や一般公開のテクノロジーを含むAIおよび生成AIツールを使用できます。機密情報、専有情報、患者情報、顧客情報、従業員情報、その他の機微情報を、一般公開のAIツールに入力してはなりません。

AI生成コンテンツは、不正確、不完全、偏りがある、または目的に適さない場合があります。従業員は、AI生成コンテンツを信頼、共有、または業務成果物に組み込む前に、自ら専門的判断を行い、正確性、完全性、適切性、およびコンプライアンスを確認しなければなりません。AIは、必要な人間による判断、承認、確立された社内プロセスに代わるものではありません。

従業員は、AI支援コンテンツを取り入れたすべての成果物、意思決定、行動について引き続き責任を負います。AIを使用しても、適用法令、契約上の義務、プライバシー要件、品質基準、サイバーセキュリティ要件、知的財産上の義務、会社方針を遵守する個人の責任が軽減されることはありません。

AIの誤用の疑い、AIツールの無許可使用、不適切または有害なAI出力、セキュリティ・プライバシー・品質・コンプライアンス上の懸念がある場合、従業員は会社所定の報告経路を通じて速やかに報告する必要があります。AIの使用に関する追加要件は、「**Enterprise Data Policy, Procedures, and Common Language for AI Initiatives**」および当社の「GenAI Guidelines」に定められています。

真実に基づく広告とマーケティング

当社の製品およびサービスについて、常に正確かつ真実に基づいた情報を提供することが極めて重要であり、不公正、誤解を招く、または欺瞞的な販売またはマーケティング行為に関与することを控えなければなりません。この文脈における販売、マーケティング、広告は非常に広範であり、当社の製品またはサービスに関する、現在および将来の顧客、患者さん、投資家、またはメディアに情報を提供するために設計されたあらゆる情報、トレーニング、プログラム、または資料（総称して「マーケティング資料」）を含みます。すべてのマーケティング資料は、バランスが取れており、公平で、客観的で、曖昧さがなく、製品表示と一致していなければなりません。さらに、マーケティング資料は、会社のポリシーおよび会社が事業を展開する国の法律に準拠した適切な審査および承認手続きを経て承認される必要があります。同様に、当社は自社製品を（該当する規制当局および政府機関によって定められた）承認された用途でのみ販売および宣伝しなければなりません。競合製品に関するコメントや比較は、公正で根拠に基づき、すべての法令を遵守していなければなりません。競合他社の製品、サービス、または従業員を不当に貶めてはなりません。

安全で高品質な製品・サービス

iRhythmは、安全で信頼性の高い高品質な製品とサービスの開発および提供に尽力しており、当社の全業務従事者は、当社製品およびサービスの品質を確保するために策定されたすべての適用可能なプロセス、手順、およびポリシーを遵守しなければなりません。私たち全員には、当社製品・サービスの品質に関する懸念事項や、臨床上の対応に関する倫理的懸念を速やかに提起する義務があります。iRhythmは、苦情や有害事象の可能性を真摯に受け止め、適用される法域の法令に従って、すべての事象を速やかに共有し、調査します。

研究開発

iRhythmは、研究、開発、エンジニアリング、データ収集において最高水準の品質を追求しています。当社製品を使用する患者や臨床試験に参加する方々の安全を確保するとともに、患者から当社へ提供される情報やその他の専有情報のセキュリティとプライバシーを保護するため、必要な措置を講じなければなりません。こうした研究や収集されたデータはすべて、データ保護法を遵守し、正確な報告、解釈、検証を可能にする方法で、慎重に記録、保管、保護されなければなりません。

第三者の管理

当社の倫理的な行動および責任ある事業活動に対する取り組みは、当社に代わって、または当社の利益のために行動するすべての第三者に及びます。当該第三者が世界のどこに所在するかを問いません。第三者がそれぞれの管轄区域における適用法令を遵守することに同様に尽力していることを確認するため、合理的かつ定期的なデューデリジェンスを実施することが重要です。このデューデリジェンスには、反ボイコット、経済制裁および貿易禁輸措置、取引禁止対象となっている個人または事業体、物品およびサービスの輸出入、テロ対策、マネーロンダリング防止に関する規制の遵守が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

また、当社はすべての事業活動において、人権の保護を支持し、尊重することが重要です。第三者は、いかなる形態の強制労働、年季奉公、奴隷労働、児童労働にも関与してはならず、当社業務従事者を厳しく、非人道的に扱ってはなりません。当社は、紛争鉱物の開示に関する適用法令および慣行を遵守しています。当社は事業活動およびサプライチェーンにおいてこれらの問題に取り組み、その対応をまとめた年次ステートメントを公表します。

適切な場合の免除

本規範の一部の規定については、適切な状況下において、最高コンプライアンス責任者が免除することができます。執行役員、取締役または主要な会計担当者に関する適用免除は、iRhythm取締役会のみが承認でき、適用法令で求められる場合は開示されます。iRhythmは、行動規範を定期的に見直し、必要または適切な更新・改訂を行う権利を留保します。

当社のサプライヤー、販売代理店、コンサルタントも、ひいてはiRhythmの企業文化の一部であるため、当社が遵守するのと同じ倫理基準を遵守するよう、最大限努めています。



インテグリティホットライン 電話：1.844.884.0117（米国）、0800 196 9504（英国）、02 8231 3103（フィリピン）、0800 777 1108（日本）

働きやすい職場づくりへの取り組み



共にイノベーションを起こそう

iRhythmでは、人材の多様性と、仕事にもたらされるさまざまな視点によってイノベーションがさらに強化されると考えています。従業員や私たちがサービスを提供する方々の多様な背景、経験、アイデアは、創造性を刺激し、進歩を促し、患者により良い成果をもたらす力となります。

私たちは、従業員を最も大切な資産と考えています。幅広い視点を取り入れることで、イノベーションを加速し、意思決定を強化し、私たちの仕事がもたらす影響を高めます。

私たちは、一人ひとりが価値を認められ、尊重され、最大限の力を発揮して貢献できる環境づくりに努めています。この取り組みを支えるため、従業員リソースグループ（ERG）と、社会貢献活動「Rhythm for a Reason」を設けています。これらの取り組みはすべての従業員に開かれており、人と人とのつながりを育み、コミュニティを築き、参加と貢献の機会を生み出すものと考えています。私たちは共に、誰もが成長し、帰属意識を持ち、患者ケアの向上につながる意義あるイノベーションに貢献できる文化を築いています。



iRhythmにおけるERG

Women in Rhythm（iRhythmにおける女性）

ロータス（AAPI ERG）

African Americans in Rhythm（iRhythmにおけるアフリカ系アメリカ人）

iPRIDE & Allies（LGTBQ+ERG）

こちらからご参加ください！

Juntos at iRhythm (Latine ERG)（iRhythmにおけるJuntos（ラテン系ERG））

インテグリティホットライン 電話：1.844.884.0117（米国）、0800 196 9504（英国）、02 8231 3103（フィリピン）、0800 777 1108（日本）

差別およびハラスメントの禁止

iRhythmでは、差別やハラスメントを一切容認しません。当社は、セクシュアルハラスメント、いじめ、およびその他の威圧的、不快、虐待的、または敵対的な職場環境を作り出す行為を含む、言葉による嫌がらせや身体的な嫌がらせを一切容認しません。これには、人種差別的、性差別的、または民族差別的なジョークやその他の発言が含まれますが、これらに限定されません。このようなハラスメントは容認されず、独立診断施設（IDTF）、オフィス、製造施設など、当社業務従事者がそのような行為にさらされる可能性のあるあらゆる職場環境から排除されます。同僚の言動に不快感を覚えた場合は、声を上げることで互いへの敬意を示します。報告経路については28ページをご覧ください。

覚えておいてください：ある行動が自分には気にならなくても、他の人も同じとは限りません。自分の行動が他人に及ぼす影響を常に意識してください。

雇用機会均等

iRhythmは、実力主義に基づいており、すべての人を公平かつ敬意をもって扱うことを約束する、機会均等の雇用主です。これには、すべての従業員および応募者に対し、平等な雇用機会を提供することが含まれます。雇用に関するすべての決定は、ビジネス上の必要性およびその他の適切かつ合法的な要素を考慮し、個人のスキル、資格、および職務遂行能力を評価した上で行われます。当社は、人種、民族、宗教、肌の色、性自認、年齢、性的指向、障害、出身国、婚姻状況、退役軍人資格、市民権といった違法な差別的要因に基づくいかなる決定も行いません。

Q: 私は営業担当者です。担当している顧客のオフィスを訪問するたびに、その顧客から言い寄られます。長い間これを無視してきましたが、ますます頻繁に言い寄ってくるようになり、無視できなくなってきました。実は、このお客様は当社にとって最も重要な顧客の1人でもあるのです。もしこのことをマネージャーに報告したら、私の気持ちよりも、顧客とiRhythmとの関係が優先されてしまうのではないかと心配です。どうすればよいですか？

A: 相手が誰であっても、顧客からこのような言動を受けるべきではありません。もしマネージャーに報告することに抵抗がある場合は、インテグリティホットライン、コンプライアンス・倫理チームのメンバー、人事部など、様々な報告方法を利用して、この懸念を秘密裏に話し合うことができます。当社は、あなたにこれ以上気まずい思いをさせることなく、このような問題を解決するためのさまざまな方法を検討できます。

Q: 性別を理由に昇進できなかったように感じています。どうすればよいですか？

A: まずは相談してください。iRhythmでは、雇用上の決定を候補者の性別に左右されることなく行うことを求めています。不当な扱いを受けたと感じた場合は、その旨を報告すべきです。懸念事項の報告方法については、「懸念事項・問題の提起に関する取り組み」のセクションを参照してください。

職場の環境・衛生・安全

ISO 14001認証企業として、当社はすべての活動を安全かつ環境に配慮した方法で実施しなければなりません。これには、各職場を積極的に点検し、人身傷害や環境への悪影響をもたらすおそれのある状況を是正するとともに、職場環境の継続的な改善を図ることが含まれます。さらに、私たちは自分自身の健康と安全だけでなく、同僚の健康と安全、そして職場環境に対しても責任を負っています。そのため、私たちはたとえ困難な状況であっても責任ある選択を行い、事故、負傷、ニアミス、危険な行為や状況を速やかに報告します。各個人は、自分の仕事を安全に、かつ法律を遵守して遂行する方法を知る責任があります。



ご存知でしたか？

業務に関連する負傷、安全インシデント、または病気はすべて、環境・衛生・安全（EHS）部門に報告しなければなりません。環境・衛生・安全（EHS）部門は、これらの報告書を利用して事故を調査したり、将来の事故を防止するために方針や手順を更新したりします。

暴力の防止

iRhythmは、暴力行為または暴力の脅迫に対して一切容赦しない方針をとっています。脅迫したり、冗談であっても敵対的な行動に加わったり、身体的または言葉による虐待を行うことは、決してあってはなりません。職場の安全を確保するため、会社敷地内への武器の持ち込みは禁止されています。

社会に対する取り組み



人権

当社は、世界中のすべての人々の人権を尊重し、その向上に取り組むことに尽力しています。当社は、強制労働、児童労働、人身売買に関するすべての適用法令を遵守し、当社の事業活動およびサプライチェーンにおける人権侵害を一切容認しません。会社ウェブサイトに掲載されている**Supplier Code of Conduct**および**Conflict Minerals Policy**を参照してください。

環境保護

iRhythmは良き企業市民であることに尽力しています。当社は、環境保護に貢献し、適用されるすべての環境法令を遵守するとともに、廃棄物を削減し、エネルギー、水、その他の天然資源をより効率的に利用する方法を継続的に模索するため、環境に配慮した事業慣行を実践しています。iRhythmは2025年および2026年に、米国で最も環境に配慮した企業の一つに選ばれました。



私たちは以下のことに真剣に取り組んでいます。

- 良き企業市民として、事業活動が環境に与える影響を改善すること。
- 私たちが事業を展開する地域において、人々にとって働きやすく、暮らしやすい環境をつくること。
- 誠実に行動し、正しいことを行うこと。

ボランティア活動と地域社会への貢献

当社は、グローバルな規模においても、事業を展開するすべての地域社会においても、責任ある企業市民および良き隣人であることを誇りに思っています。当社は、地域社会の組織との連携を促進し、勤務地や居住地のある地域社会でボランティア活動を行うことを通じて、良き市民となることを当社の全業務従事者に奨励しています。

薬物乱用の禁止

私たち一人ひとりは、仕事の効率的かつ安全な遂行を妨げる可能性のある、あらゆる物質の影響を受けずに仕事をする義務を負っています。当社の事業の性質上、品質、安全性、および法令遵守を確保するためには、日々最適なパフォーマンスを発揮する必要があります。

当社は、企業の社会的責任の原則を遵守し、環境への影響を最小限に抑え、人命を尊重し、私たちが生活し働く地域社会を支援し、メディア、投資家、一般市民、政府からの問い合わせに適切に対応し、最善の慣行に沿って、適用されるすべての法令を遵守し、企業としての誠実さをもって行動するよう努めています。当社の持続可能な取り組みに関する詳細は、当社ウェブサイトに掲載されている最新の環境・社会・ガバナンス（ESG）報告書を参照してください。

慈善活動および政治活動

iRhythmは地域社会への貢献に尽力しています。当社が行う慈善活動はすべて、iRhythmの企業理念および目的と合致していなければなりません。重要な点として、当社による慈善団体、教育機関、または社会貢献団体・活動への支援は、当社の製品またはサービスの推奨、使用、もしくは購入を条件としたり、それらと関連付けたりしてはなりません。医療機関（HCO）への慈善寄付、または医療従事者（HCP）の要請による慈善寄付は、**Grants and Donations Policy**に従い、慈善団体や社会貢献団体に会社の資金、時間、その他の資産を寄付する前に、助成金委員会の事前承認を得る必要が

私たちは、薬物乱用やアルコール関連の問題、そしてその他の問題も治療可能であることを認識しています。従業員支援プログラム（EAP）を通じて、秘密厳守のサポートを受けることができます。

Q: 自分には薬物等の乱用の問題があるかもしれません。iRhythmは私を助けてくれますか？

A: iRhythmは、カウンセリングの専門家に連絡して支援を求めることを勧めています。薬物乱用に苦しむ従業員への支援策については、人事部にお問い合わせください。

Q: iRhythmはなぜ、「HCPまたはHCOへの助成金」の選定に営業部門が関与することを制限しているのですか？

A: iRhythmがHCPまたはHCOに対し、当社製品・サービスを購入、使用、推奨してもらうため、またはその見返りとして、あるいはその他の販売上の目的で助成金を提供しているとの印象を避けるために、この分離が必要です。

あります。iRhythmを代表して行われるあらゆる公共政策活動または政治活動（例えば、会社の資金、時間、資産を使用したもの）は、法律および本規範に準拠し、最高法務顧問の事前承認を得なければなりません。個人的な立場で市民活動や政治活動を行う場合、私たちの見解や行動は私たち自身のものであり、iRhythmのものではないことを明確にしなければなりません。

メディア・広報

当社は、報道機関および一般の方々に対し、正確かつ一貫性のある情報を提供することに尽力しています。したがって、iRhythmを代表して発言できるのは、権限を与えられた者のみです。当社に関する外部からの問い合わせはすべて、直ちに広報・コミュニケーション責任者に転送する必要があります。

ソーシャルメディア

iRhythmの積極的なソーシャルメディア活動は、ブランドイメージを高め、一般の人々や関係者とのつながりを強化します。当社のソーシャルメディア担当者は、iRhythmのソーシャルメディア活動の企画、管理、監督を行います。これは、当社が提供する情報が明確で、一貫性があり、正確であることを保証するのに役立ちます。ソーシャルメディアを利用する際は、責任を持って利用することが重要です。私たちはiRhythmの業務従事者として共通のアイデンティティを持っていますが、同時にそれぞれが独自の考え、意見、興味を持つ個人でもあります。

仕事以外では、ソーシャルネットワークに投稿したり、ブログを書いたり、Wikiに貢献したりすることができます。ただし、こうした個人的な活動においても、ソーシャルメディアの利用は、iRhythmおよび他の当社業務従事者に対する自身の義務に反しないものでなければなりません。ソーシャルメディアを個人的に利用し、iRhythmに関連する話題について議論する際は、正直に会社との関係を明示する必要があります。適切な場合、投稿する見解や意見がご自身の見解であることを明確にし、会社の機密情報を決して開示しないでください。ご質問がある場合は、「**Social Media Policy**」を参照してください。

政府関係者とのやり取り

適用される規則・規制を遵守し、監査・調査に適切に対応するためには、政府機関・規制当局およびその担当者と全面的に協力し、効果的に連携することが重要です。当社が政府機関および規制機関と構築するあらゆるビジネス関係は、正当な手段によるものであり、透明性をもって行われる必要があります。詳しくは、「**Government Interactions Policy**」を参照してください。



倫理と誠実さへの取り組み



利益相反

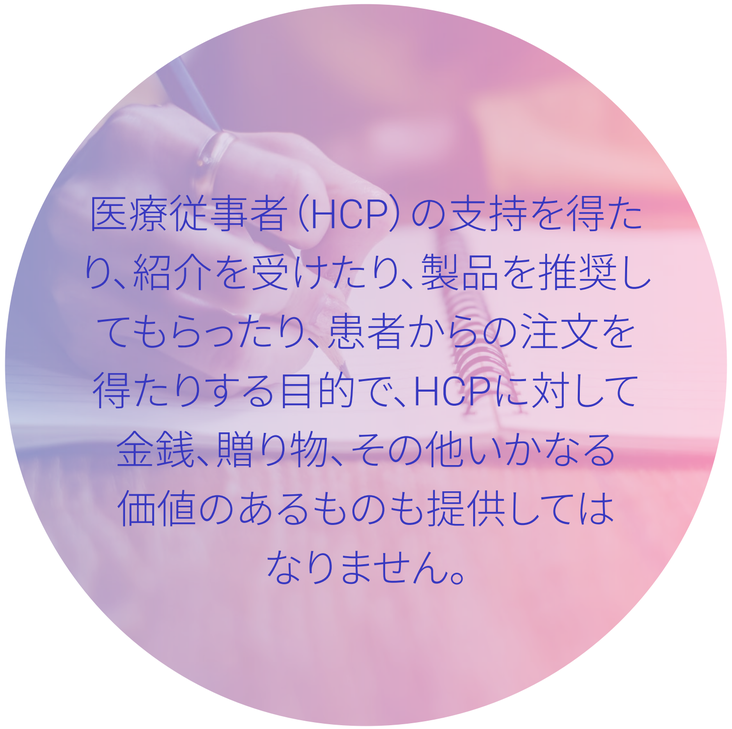
私たちには、iRhythmでの職務内容やiRhythmの事業利益と矛盾する、あるいは矛盾するように見える個人的な行動を避ける責任があります。従業員が、金銭的利益、家族への忠誠心、恋愛関係など、iRhythmの事業利益と矛盾する、または矛盾する可能性のある個人的な利害関係を有している場合、あるいはそれがiRhythmでの業務上の意思決定に影響を及ぼす可能性がある場合、個人的な利益相反が生じます。潜在的な利益相反がある場合は、その利益相反を最高コンプライアンス責任者に開示し、審査の上、適切な軽減措置が必要かどうかを判断してもらう必要があります。利益相反が存在すること自体は必ずしも本規範への違反とは限りませんが、利益相反を開示しなかったことは、本規範への違反となる可能性があります。ご質問がある場合は、コンプライアンス・倫理チームまたはHR Complianceへ問い合わせるか、「**Conflict of Interest Policy**」を参照してください。

個人投資または取引

顧客、仕入先、または競合他社への個人的な多額の投資は避けるべきです。これは、あなたやご家族がiRhythmのサプライヤー、競合他社、または顧客に相当な経済的利害関係を有している場合、あるいはこれらの当事者から報酬を受け取っている場合に発生する可能性があります。

人間関係

また、従業員が、家族関係、恋愛関係、その他の個人的な関係にある人物の採用、業務割り当て、報酬に影響を与えることができる立場に就くことも適切ではありません。詳しい情報が必要な場合やご質問がある場合は、HR Complianceへ問い合わせるか、「**Company's Nepotism Policy**」を参照してください。



社外活動およびその他の利害関係

競合他社、サプライヤー、または顧客のために働くこと、またはサービス内容が競合する、もしくは競合しているように見える可能性のある副業を行うことは、人事部および法務部からの適切な承認がない限り禁止されています。社外での就労が許可されている場合でも、従業員はiRhythmとのすべての機密保持契約、および機密情報、専有情報、重要な非公開情報に関するiRhythmのすべてのポリシーと手順に引き続き拘束されます。

贈収賄・汚職の防止

当社は、事業活動において、医師による自己利益を伴う患者紹介を規制する法令、贈収賄防止法令、および適用されるすべての腐敗防止法令を遵守することに努め、腐敗行為や贈収賄行為を一切容認しない方針を維持しています。したがって、当社は、ビジネスの獲得または維持、あるいはビジネス上の優位性を得る目的で、あらゆる種類の金銭的利益、賄賂、キックバック、または便宜供与の支払いを、いかなる者に対しても、提供、提供の試み、承認、または約束してはなりません。また、賄賂やキックバックを要求・受領してはならず、自社では法的または倫理的に行えない活動を第三者に行わせてもなりません。iRhythmは、紹介元へ不適切な利益を提供するのではなく、会社としての優れた実績によってビジネスを獲得します。取引や海外出張を伴う業務に従事する当社業務従事者は、適用される贈収賄防止法および腐敗防止法を遵守するため、米国海外腐敗行為防止法（FCPA）、英国贈収賄防止法、および同様の現地法について熟知しておく必要があります。

医療従事者（HCP）との連携

当社は、当社の製品やサービスの効果的な利用を支援し、患者ケアを向上させるためでも、革新的な医療製品を開発するためでも、医学研究や教育を支援するためでも、あらゆる場面において医療従事者との倫理的かつ透明性の高い交流に尽力しています。例えば、医療従事者との交流には、会議、講演会、シンポジウム、製品教育、研究、教育イベント、コンサルティング契約などが含まれます。すべての交流において、当社は、当社と医療従事者との関係を規定するすべての適用法令を認識し、遵守しなければなりません。当社は、医療従事者（HCP）による当社の製品またはサービスの推奨や使用を促したり、その対価として報いたりする目的で、不適切な

利益供与を行ったり、申し出たりしてはなりません。ご質問がある場合は、コンプライアンス・倫理チームのメンバーへ問い合わせるか、「**HCP Engagement Policy**」を参照してください。

ビジネス上の贈答・接待

多くの業界では、マーケティングや事業開発活動に関連して贈り物の交換や接待を行うことは一般的ですが、医療業界は事情が異なります。当社業務従事者は、医療従事者に対して、時折提供されるものであり、金額が控えめで、その範囲が妥当であり、かつ会社が事業を展開する各国の法令および規制に従っている場合に限り、接待、食事、および飲み物（総称して「ビジネス上の贈答・接待」）を提供することができます。具体的には：

- 当社業務従事者は、HCPを含む第三者にビジネス上の贈答・接待その他の金銭的誘因を提供することによって、ビジネス機会を生み出そうとしてはなりません。
- 当社業務従事者は、医療従事者が娯楽やレクリエーションイベントに参加するための費用を提供したり、支払ったりしてはなりません。同様に、ビジネス上の会食やイベントには、会社が費用を負担する娯楽やレクリエーション活動を含めるべきではありません。ご質問がある場合は、「**HCP Meals Hospitality and Travel Policy**」を参照してください。
- 当社業務従事者は、食事、旅行、接待の提供または受領が賄賂とみなされる可能性さえも避けるため、あらゆる状況を考慮して、食事、旅行、接待の妥当性を検討しなければなりません。

さらに、当社がビジネスを展開する様々な国では、医療従事者や政府関係者に対して提供できるビジネス上の贈答・接待を制限または禁止する、厳格かつ複雑な法律が定められています。したがって、当社業務従事者は、会社方針に定める要件を満たす場合を除き、ビジネス上の贈答・接待を申し出てはなりません。ご質問がある場合は、コンプライアンス・倫理チームのメンバーへ問い合わせるか、「**Anti-Bribery and Anti-Corruption Policy**」を参照してください。

法務・規制関連の問い合わせへの対応

当社業務従事者は、監査または調査に関連して、社内外の関係者から情報提供を求められる場合があります。迅速に対応するため、規制当局から記録の提出や監査の要請があった場合は、直ちに当社の品質管理部門および規制関連部門の責任者に通知しなければなりません。同様に、あらゆる法的問題や召喚状は、直ちに最高法務責任者に送付しなければなりません。

インサイダー取引

iRhythmで勤務する中で、当社または当社が取引を行う他の企業に関する重要な非公開情報、いわゆる「インサイダー情報」を入手する場合があります。「インサイダー情報」とは、一般には知られていない企業に関する情報で、合理的な投資家がその企業の証券を売買する際に重要だと考えるであろう情報を指します。インサイダー情報を入手した場合は、iRhythmの株式または証券、あるいは他のいかなる会社の株式または証券も売買してはなりません。さらに、私たちはそのような情報を、友人や家族を含め、いかなる場合も他の人物にも開示してはなりません。このような方法でインサイダー情報を開示することは、不適切な情報提供に該当し、



Q: 上司から、不正確で誤解を招くと思うデータを報告書に追加するよう求められました。どうすればよいでしょうか？

A: 記録が虚偽であることを知っている、または虚偽であると信じる合理的な理由がある場合、いかなる状況でも、会社を代表してその記録を作成、署名、承認、送信してはなりません。マネージャーと話し合うのが難しい場合は、別のマネージャー、コンプライアンス・倫理部門、人事部、またはインテグリティホットラインにご連絡ください。

インサイダー情報を提供した者と、その情報に基づいて行動した者の双方が法律に違反したものとみなされます。このような「インサイダー取引」は法律および行動規範で禁止されています。すべての当社業務従事者は、iRhythmの証券を取引する際、「**Company's Insider Trading Policy**」を遵守しなければなりません。

正確な帳簿と記録の維持

当社は、帳簿および記録に正確かつ誠実な情報が記載され、基礎となる取引またはイベントの真実が反映されていることを保証する責任を負います。「記録」とは、当社が業務の一環として作成するすべての物理的または電子的な文書を指します。正確な記録は、iRhythmが規制当局による監査に適切に対応し、法令を遵守するうえで極めて重要です。いかなる場合においても、記録が虚偽であることを知っている、または虚偽であると信じるに足る理由がある場合は、会社を代表して記録に署名、承認、または送信してはなりません。

正確な記録を確保するという点において、当社の財務担当上級役員は、iRhythm社内における誠実さを促進するという特別な責任を負っています。最高経営責任者、最高財務責任者、主席会計責任者、経理責任者、または同様の職務を遂行する者は、本規範の原則を遵守するだけでなく、会社の公開情報が完全で、公正で、正確で、適時提供され、理解しやすいものであることを保証する義務も負います。さらに、これらの人物には適用されるすべての政府の法律、規則、規制を遵守する責任があり、違反の疑いがある場合は速やかに監査委員会の委員長に報告する義務があります。

公正な競争

企業が市場において公正に競争することは重要です。したがって、当社は、反競争的または不当に取引を制限するような契約や事業協定を締結してはなりません。取引を制限するいかなる合意も、関係する他の企業にかかわらず、反競争法に違反する可能性があります。こうした理由から、価格や価格設定、生産能力、売上、入札、利益や利益率、コスト、流通方法など、機密性の高い、あるいは潜在的に反競争的な話題について、第三者と不適切に話し合うことは避けるべきです。

また、不適切な手段や非倫理的な手段を用いて競合他社に関する情報を入手することは控えるべきです。同様に、競合他社に関する情報が守秘義務に違反して開示されたと信じるに足る理由がある場合（例えば、以前競合他社で働いていた従業員から開示された場合など）、当社はその情報を受け入れたり、開示したり、使用したりすべきではありません。

貿易コンプライアンス

iRhythmはグローバル企業であり、当社の製品および技術の輸出入を規制する適用法令、規制、ライセンス要件、ボイコット、禁輸措置、その他の制限を遵守しなければなりません。また、当社は税関職員およびその他の関係当局に対し、自社製品およびその他の品目に関する正確かつ真実の情報を提供し、制裁対象国との貿易には参加してはなりません。

請求・償還

iRhythmは、当社の製品およびサービスの請求、回収、または償還を規定するすべての法律、規制、およびガイドラインを理解し、遵守することに尽力しており、医学的に必要であると当社が判断する製品およびサービスについてのみ請求を行います。同様に、完全かつ正確な記録を維持し、適切な請求コードおよび償還コードを推奨または使用する必要があります。重要な誤りについては、できるだけ早く修正して報告し、不明瞭な請求に関する問題については、マネージャーまたは適切な担当者に質問して、会社の請求関連業務が適用法に準拠していることを確認することが重要です。

ご不明な点は、コンプライアンス・倫理チームのメンバーへ問い合わせるか、「Government Interactions Policy」を参照してください。



懸念事項・問題の提起に関する取り組み





本規範、ポリシー、または法律や規制に違反する行為を認識した場合は、以下に報告する責任があります。

- 直属の上司
- 人事部
- 最高コンプライアンス責任者：

  compliance@irhythmtech.com宛てにメールで

  mike.loffredo@irhythmtech.com宛てに直接メールで
- iRhythmのインテグリティホットライン（現地法で認められている場合、懸念事項を匿名で報告できます）：
  - 米国：1-844-884-0117
  - 英国：0808 196 9504
  - フィリピン：02 8231 3103
  - 日本：0800 777 1108
  - オンライン：irhytmics.ethicspoint.com

声をあげましょう！

本規範をもっと有用なものにするためのアイデアはありますか？倫理的に正しい判断を下すためのコツはありますか？インテグリティチームは、皆様のご意見を伺いたいと思っています。

iRHYTHM®

699 8th Street, Suite 600, San Francisco, CA 94103 (888) 693-2401 irhythmtech.com
iRhythm、Zio、Zio XT、Zio AT、MyZio、ZioSuiteはiRhythm Holdings, Inc.の商標です。©2026.
All rights reserved. 2026年改訂